



山田こうじです！

2026年6月28日

NO.372

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

即時・恒久停止を含む覚書に署名 米イランの戦争終結へ！

国連憲章違反 無法な戦争の破綻

米国とイスラエルの先制攻撃で始まった戦争がようやく停止する交渉が始まりました。覚書の2項で「イランの主権と領土保全の尊重、内政問題の不干渉」を約束し、「体制転換」を求めて開始した米国の国連憲章を踏みについた無法な戦争の破綻が明らかです。武力でイランを屈服させることはできず、外交交渉に立ち戻るしかありません。

両国が覚書の方角で最終合意を達成し、平和と安定を回復することをつよく求めます。

力による体制転換は破綻

開戦当初、トランプ大統領はイランの体制転換を呼



華金のまちで「変わるのは憲法じゃない」を光らせようと呼びかけられた西院のサイレントスタンディング

びかけました。しかし覚書には「主権・領土の相互尊重と内政不干渉」が明記されました。1979年にイランの現体制が樹立されて以来、歴代米政権が続けてきた敵視政策が通用しなくなりませんでした。

イランの核兵器 開発疑惑は？

覚書は、イランが核兵器を開発しないことを確認しましたが、もともとイランは核兵器を持つ意思がないと表明しています。未申告の核開発が問題になった後、欧米諸国などと結んだ2015年の合意で、イランは核兵器をつくらないことを改めて宣言し、ウラン濃縮などの制限と検証を受け入れていました。

合意から一方的に離脱したのは第1次トランプ政権です。覚書では、イランの核計画は、最終合意が定める枠組みの中で協議されま

戦争による得るものは何もない

ホルムズ海峡の開放も戦争前の状態の回復です。

民泊実態調査へ！

東山区などでは、管理者不在の許可を得た民泊が住環境を壊し、住み続けられないと悲鳴が上がっています。共産党京都市会議員



東山区などでは、管理者不在の許可を得た民泊が住環境を壊し、住み続けられないと悲鳴が上がっています。共産党京都市会議員

戦争による犠牲はあまりに甚大です。イラン政府によると、無差別攻撃による死者は約3500人にのぼります。

戦争は周辺国に拡大し、イスラエルのレバノン攻撃による死者は4000人近くと言われます。ホルムズ

海峡封鎖は世界経済に大打撃を与え、物価高騰や石油由来製品の不足は今後も続く見込みです。

食料もエネルギーも資源も海外に依存する日本。ホルムズ海峡の封鎖等の影響により、市民生活と地域経済に湯大な影響が及んでいます。

第235回くらしのなんでも相談会

暮らしにかかわることなんでも、一人で悩まずお越しください。

秘密厳守、相談無料です。

日時 7月11日(土) 午後1時半から3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員山田こうじ事務所

連絡先 佐々木義人 801-9379

まごとおおきこ 山田こうじです！



6月21・22日の土日は久々にリフレッシュしました。

土曜日は高校のバスケットボール部のOB会。卒業したての若者から先輩まで、久々にお会いする方々と、試合や練習等懐かしい話に花を咲かせました。

日曜日は安井後援会の「伊根の舟屋」の日帰りマイクロバスツアー。2人の参加でした。

舟屋巡りの遊覧船では、多くのカモメが船に寄り添い飛び交います。おいしい料理と、地元市場で新鮮なおさかなを仕入れ、帰りのバスはお土産一杯でした。

